

「高木学校」を設立した高木仁三郎氏が12月から本格的に動き出す。化学物質と生活をテーマに6回の連続講座を開く。高木さんはがんと手術を受けたばかりで自宅療養中だが、「科学技術の進歩と影を見てきた経験若い人に伝える責任がある」と、第1回の講演に立つ。

高木さんは元東京都立大理学部助教授。核化学を専攻していたが、科学研究のあり方に疑問を感じ、1973年に大学を辞めた。75年の原子力資料情報室設立に加わり、以降、脱原発運動の中心を担ってきた。

昨年10月には、「もう一つのノーベル賞」と呼ばれる「ライト・ライブリフ賞」を受賞した。スウェーデンの財団が平和・人権・環境問題などの解決に尽くしている人に贈る賞で、プルトリウム政策の危険性を世界的に警告したことが評価された。

「高木学校」を設立したのはこの受賞がきっかけだった。「自分が頑張らなければならぬ」と走り続けてきた生活を見直し、「市民に支えられて活動する若い科学者を育てたい」と考えるようになった。約37

# 科学者は市民の側

## 来月から6回連続 がん闘病の中、決意



「高木学校」への思いを語る高木仁三郎氏

0万円の賞金を若い世代の教育にあてることにした。今夏、大腸がんが見つかった。「先がないかもしれないから、早く学校を軌道に乗せたい」と思い、高木学校を設立した。学校は環境、核、人権などが直面する問題を市民の視点で考える科学者の養成を目指すAコースと、市民を対象に現代科学の諸問題を考えるBコースを設ける。

12月5日から開催するBコース第1回連続講座「化学物質と生活」では、高木さんが「プルトリウムと市民」と題して最初に講演するほか、環境ホルモン(内

分泌かく乱物質)やダイオキシン、フロンなどについて、研究者や市民団体代表が講演する。

高木さんは9月に情報室代表を退き、10月に転移が十分ではないが「化学物質による汚染などにより、地球の未来が危ぶまれている。地球のために何かしたいと考えている若い人たちに、未来を取り戻そうと訴えたい」と話している。

連続講座の参加申し込みは16日まで。問い合わせ先は原子力資料情報室内の事務局(03-6360-9502)。

【斗ヶ沢秀俊写真】

# 障害者ら狙い詐欺

山形県警が容疑者夫婦を逮捕

「架空投資」200人、6億5000万円

特捜部と愛知県警捜査2課は10日午前、収賄の罪で起訴された元同僚部教授、日高弘義被告(60)に7200万円を送金していた大手製薬会社「大塚製薬(本社:東京都千代田区)の大塚明彦社長(61)ら同社幹部3人に、出頭を要請、贈賄容疑で本



の疑いで逮捕した。夫婦は首都圏や東日本を中心に全国で約200人から金をだまし取っていた。被害者のうち半数は聴覚障害者で、被害総額は約6億5000万円に上るとみられる。

逮捕されたのは、東京都中央区築地、下着販売代理店経営、松村明美(35)と夫の無職、松村浩一(38)の両容疑者夫婦。

調べでは、松村容疑者らは、夫婦の名前の頭文字を取った「ケー・アンド・エー」という法人を設立したように見せかけ、明美容疑者が行っていた訪問販売の訪問先などを訪れて信用させる手口で、今年7月、聴覚に障害のある東京都内の男性(63)に「月に2割の利息を付けて返済する」と持ちかけて、2回にわたり計約1700万円をだまし取ったほか、同3月には埼玉

聴覚障害者などを狙って「月に2〜5%の金利が付く投資がある。元本は保証する」と架空の契約を結び、せて集めた金をだまし取っていたとして、山形県警生活保安課と山形署は10日朝、東京都内の夫婦を詐欺

「ケー・アンド・エー」という法人を設立したように見せかけ、明美容疑者が行っていた訪問販売の訪問先などを訪れて信用させる手口で、今年7月、聴覚に障害のある東京都内の男性(63)に「月に2割の利息を付けて返済する」と持ちかけて、2回にわたり計約1700万円をだまし取ったほか、同3月には埼玉

信用しやすいと、同3月には埼玉

氏「写真」0年に行われ、統領選挙に強い意欲を。

ホーガンソタ州知事た元プロレスラーに触発され「マクドナレー」と同じ

は知られて

誌

誌

誌

誌

誌

誌

誌

誌

加藤芳郎 (12914)

ひまわりの気分がよい



女性容疑者

ひまわりの気分がよい

信用しやすい

大統領選で「一番」?

大統領選で「一番」?

# 21 教委で補助金不正

## 飲食費などに数億円流用

文部省が教育委員会に委託して実施している教育関係事業をめくり、全国21府県でカラ出張などの不正経理が行われ、幹部の飲食費などに補助金が流用されていたことが10日、会計検査院の検査で分かった。流用額は数億円とみられる。大半の教育委員会が別経理でウラ帳簿を付けるなど悪質だった。昨年の検査でも4県教委で発覚しており、教育現場を統括する立場の教育委員会に不正経理がまん延している実態が浮き彫りになった。

文部省が委託していた事 用に関する実践研究や「小」などで、講師謝礼や会場費などは「小学校施設の教育活 学校実技都道府県講座」などに国から補助が出てい

る。不正が発覚したのは、神奈川県や大阪府などの教育委員会。流用額は神奈川県約2300万円が最も大きかった。支払っていない講演会の講師謝礼などを支払ったように装って文部省

### 会計検査院へ 改善要求

に報告したほか、出張旅費を架空計上して流用を繰り返していた。不正経理で浮かした金は教育委員会幹部

の飲食費や、各種団体への祝い金、職員の夜食、消耗品代、講師送迎用タクシー代に流用されていたという。

「教育委員会などが行われたこと驚いている。全ていないことだ。を委託している。では、遺憾な事している。」

これに対し、文部省は「内部調査の結果を公表し、再講じたが、会計は正式な指摘をいので、それをしたい」と話し

## 反原発の高木さんが養成講座

「市民の側に立つ科学者を育てたい」。在野の科学者として脱原発運動を担ってきた高木仁三郎・元原子力資料情報室代表(60)がそんな願いを込めて設立した「高木学校」が12月から本格的に動き出す。「化学物質と生活」をテーマに6回の連続講座を開く。高木さんはがんと手術を受けたばかりで自宅療養中だが、「科学技術の進歩と影を見てきた経験を若い人に伝える責任がある」と、第1回の講演に立つ。

# 民の側に



「高木学校」への思いを語る高木仁三郎さん

### 大塚製薬



大塚明彦・大塚製薬社長

## 社長ら逮捕へ

### 新薬 日高被告に贈賄容

格的な事情聴取を始めた模様だ。容疑が固まり次第同日午後にも逮捕、日高被告も再逮捕する方針。

日高被告に贈らに当たると判断と中堅製薬会社(埼玉県大宮市)事件に関連し、

名古屋大学医学部を舞台にした新薬の研究開発を巡る汚職事件で、名古屋地検特捜部と愛知県警捜査2課は10日午前、収賄の罪で起訴された元同学部教授、日高弘義被告(60)に7200万円を送金していた大手製薬会社大塚製薬(本社・東京都千代田区)の大塚明彦社長(61)ら同社幹部3人に

出頭を要請、贈賄容疑で本

所への多額の送金が、大学での共同研究の見返りに、

責任は免れない